



大学コンソーシアム熊本 地域創造部会 地域課題解決のための企画事業  
 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」  
 令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続に必要な取組

# 文化財と教育で伝承する災害記憶

## －「ハート事業」の提案－

【Keywords】文化財，教育，伝承活動，地元愛，災害記憶

- 【Contents】
0. 課題提起と研究目的
  1. 八代市の概要
  2. キーワード検索数結果
  3. 地域の力【地域の災害は地域が伝える，団結する，守る】
  4. 【仮説】文化財と教育が育成する「地元への愛着」を防災力へ
  5. 八代市の無形民俗文化財
  6. 【検証】例：「八代妙見祭」考察
  7. 【検証】八代妙見祭保存振興会組織図と活動
  8. 【まとめ】ハードからハートへ

九州ルーテル学院大学  
 坂上陽菜  
 (坂本研究室所属)

【引用】九州三大祭 八代妙見祭 公式さん  
 (@MyoukenKousiki) / Twitter

# 0. 【何が問題か？】 課題提起と研究目的

## 多発する自然災害への防災・減災対策

### 国土強靱化

膨大な経費負担  
自然環境への影響  
想定外自然災害が多発  
個人の災害対応能力に依存

本当にこれでよいのか

#### ハード政策：公共事業

#### ソフト政策：防災意識社会構築

河川 全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等) **国土強靱化**

概要:平成30年7月豪雨を踏まえ、樹木繁茂・土砂堆積及び橋梁等による洪水氾濫の危険箇所等の緊急点検を行い、流下阻害や局所洗掘等によって、洪水氾濫による著しい被害が生ずる等の河川約2,340河川について、樹木伐採・掘削及び橋梁架替等の緊急対策を実施する。

府省庁名:国土交通省

洪水氾濫等に対応した樹木伐採・掘削等を実施

#### 本研究の目的



伐採前

樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消

樹木伐採の事例

#### 2. 防災意識社会への転換<ソフト対策>

平時から災害時にかけての災害情報の充実



# 教育が育む防災・減災政策の提案

引用：内閣府（2021）[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo\\_kyoujinka/](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/)

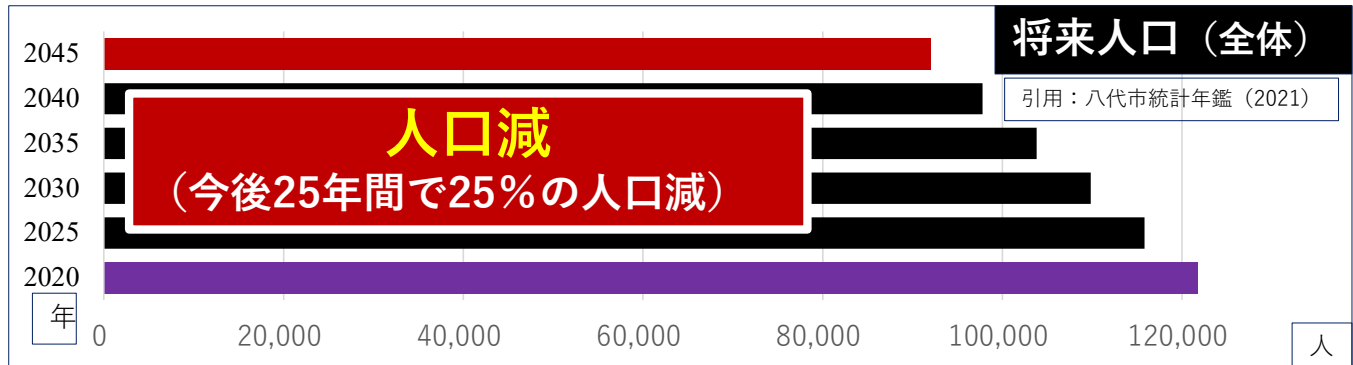
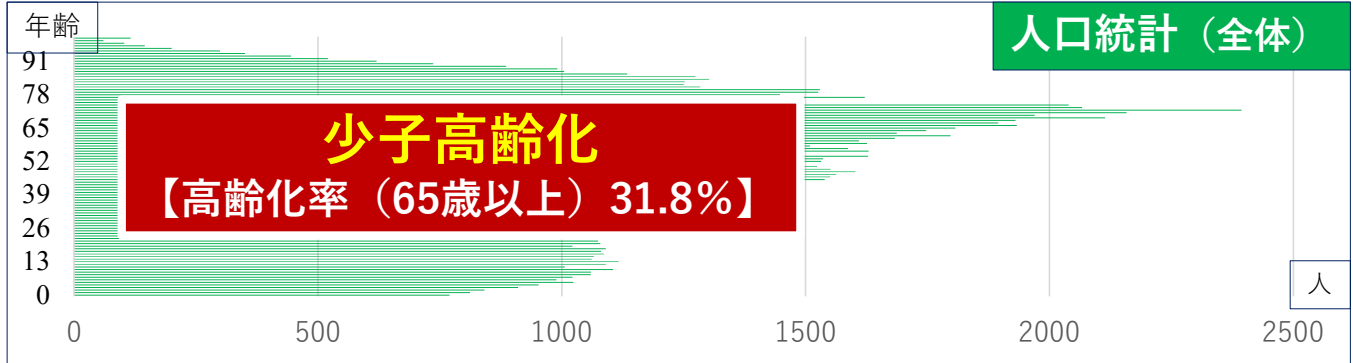
引用：国交省（2021）：<https://www.mlit.go.jp/common/001281531.pdf>

# 1. 【八代市の概要】

統計：令和3年9月30日現在（八代市統計情報：<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032006/index.html>）

## (1) 研究フィールド：八代市

八代市  
人口：124,286人  
男性：57,983人  
女性：66,303人  
世帯数：56,898世帯



地図引用：<https://www.cocomemo.net/naniken/43/yatsushiro.html>

### 令和2年7月豪雨災害



### 被害概要

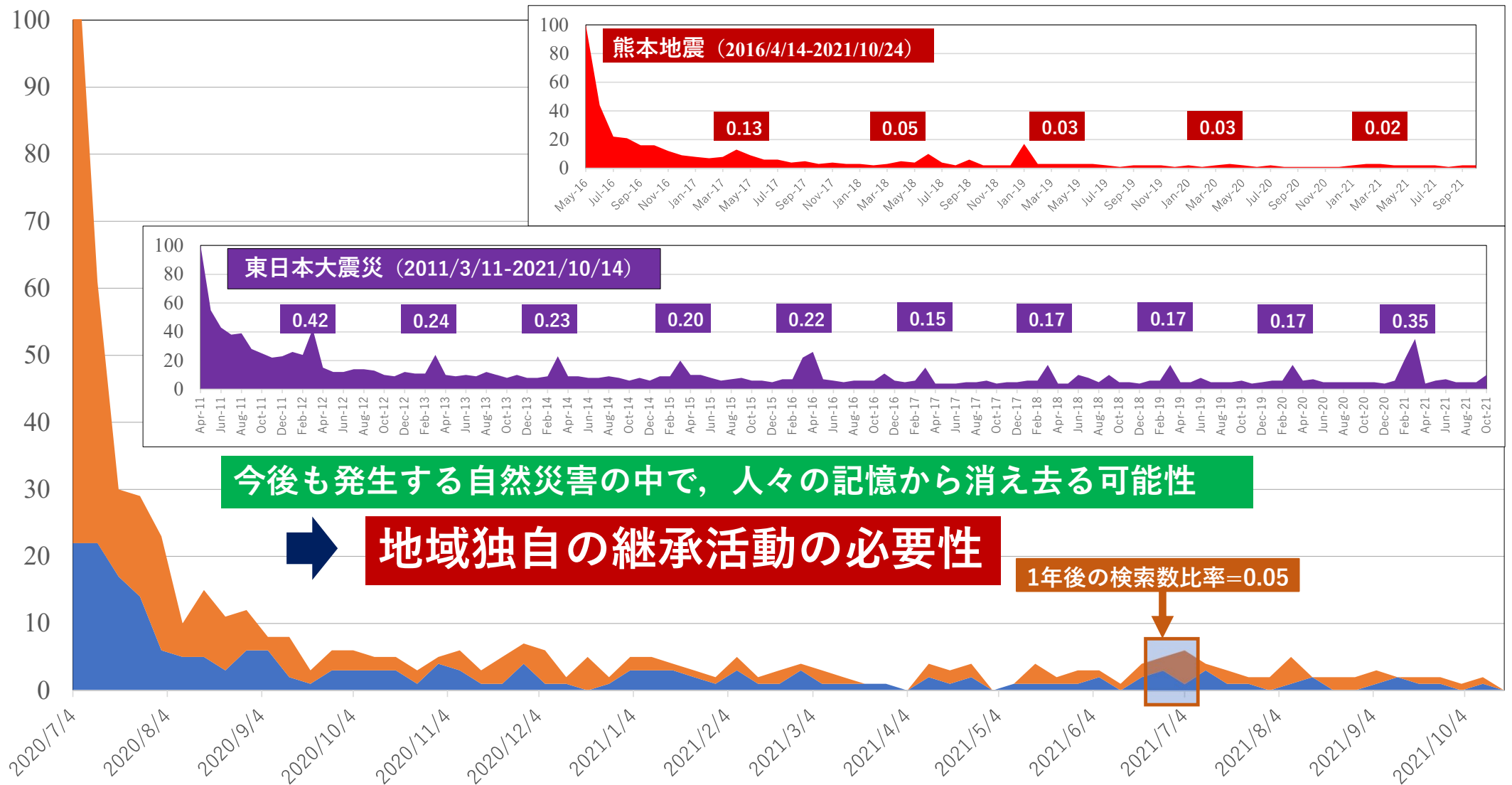
- |           |      |
|-----------|------|
| (1) 死者    | 4人   |
| (2) 重傷者   | 2人   |
| (3) 軽傷者   | 19人  |
| (4) 行方不明者 | 1人   |
| (5) 全壊    | 522軒 |
| (6) 床上浸水  | 455軒 |

被害金額  
**237億円**

引用：八代市危機管理課（2020/9/2現在）

## 2. 【キーワード検索数】 ①令和2年7月豪雨 ②熊本豪雨

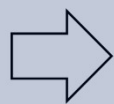
Google Trend (Survey date : 2021/10/24)



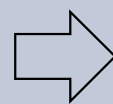
### 3. 【要点】 【地域の災害：地域が「伝える」「団結する」「守る」】

忘れ去れる地域の厄災に対して

地域の厄災



地域で伝承



地域の防災力

## 現代的課題：地域コミュニティの崩壊

### 文化財の活用

新しいコミュニティの創造

【文化財】歴史上、芸術上、学術上、観賞上等の観点から価値の高い有形、無形、民俗、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6種類 → **文化財** → **保全・活用**



画像提供：鹿児島県

例：「大浦町の疱瘡踊」 国選択無形民俗文化財 鹿児島県指定民俗文化財

疱瘡（天然痘）の記憶を伝承する文化財 → 伝承するためのコミュニティ（保存団体）

大浦町の疱瘡踊は、古来の踊りの様式等が正確に伝承されている。疱瘡にかからないように、かかっても軽くてすむようにという切実な祈りの心がにじみ出た舞である。毎年2月に確実に実施される →

**地域の「災害記憶遺産」** 【毎年実施することにより、災害の記憶を後世に伝承】

### 文化財保護法

行政によって指定・登録された文化財は、永續するように保全・活用することが自治体や団体に義務付けられる → **コミュニティの形成** → **地域の誇り**

4. 【理論】 文化財と教育が育成する「地元愛」を防災力へ

仮説理論 【前提】 今後も続く想定外の大規模自然災害

文化財による災害伝承

教育による「地域愛」育成

災害に立ち向かう地域の創造

こうした諸条件に対して…

流出する人口

自然環境の悪化

多大な財政負担

被災者への支援

Mission : ①文化財で災害を伝承 ②教育で地元愛を育成 ③災害に力強く立ち向かう市民の育成

つまり

地域・市民を強く結びつける政策

ハードからハートへ

文化財がつくる絆

八代独自の防災力

=

八代の水害

教育で伝承

地元愛育成

防災力

## 5. 【検証】例：「八代妙見祭」考察

市民を結びつける最大の「絆」

国指定重要無形民俗文化財  
ユネスコ無形文化遺産

# 八代妙見祭

【起源①】1632年 細川忠興 公が八代へ

それまでに衰退していた妙見宮の復興→自ら製作した神輿、神馬、飾馬などを祭りに奉納するなど、祭りの振興に力を入れ、現在の神幸行列の原型を作り上げる

【起源②】1646年 祭りへ町人が参加

八代の反映を背景に、獅子舞、笠鉾、亀鉦などの行列に町人らが参加し、豪華な神幸行列が完成する

1959年 八代市無形民俗文化財指定  
2003年 熊本県重要民俗文化財指定  
2010年 熊本県民文化賞（地域文化活動部門）受賞  
2011年 国重要無形民俗文化財指定  
2016年 ユネスコ無形文化遺産登録



【開催日】例年11月22・23日開催  
【見物客】市内外から訪れた約20万人  
【出し物】神輿、神馬、獅子、笠鉾、亀鉦など江戸時代の祭礼絵巻を再現した40の出し物  
【参加者】約1700人の神幸行列  
【行列】塩屋八幡宮から八代神社までの約6kmを練り歩く



2021年9月24日・10月25日  
保存振興会及び八代市文化振興課ロングインタビュー

八代妙見祭の取組み  
濱大八郎 (2021)

【引用】九州三大祭 八代妙見祭 公式さん  
(@MyoukenKousiki) / Twitter



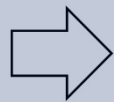
## 6. 【検証】八代妙見祭保存振興会組織図と教育活動

引用：八代妙見祭保存振興会HP：<http://www.myouken.com/>

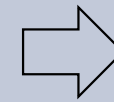


画像提供：本町1丁目アーケード商店街 <https://search.yahoo.co.jp/image/>

幼小中高・学校教育



文化財伝承活動



地域の防災力



## 7. 【検証】八代妙見祭保存振興会・八代市文化振興課へのインタビュー

多様な民俗文化財が存在し伝承されている



文化財の後世への伝承には課題がある



教育には文化財を継承する力がある

八代には約30の民俗文化財が存在し、妙見祭保存振興会が呼びかけたことによって、現在ではそれぞれの保存会等によって保全がなされるようになった。地域のコミュニティの成立状況は他地区よりも良いと思われる。

学校の統廃合により、各地区の伝統芸能の伝承が困難になった。今後は民俗芸能を継承するような地域コミュニティを形成するため、さまざまな伝承活動を実施する努力が必要である。

地域の民俗芸能を伝承するため、熊本市に住んでいる八代出身者が例年家族みんなまで帰省し、祭りを継承している例もある。小学校の「総合的な学習の時間」を用いて地域の伝統芸能の継承をおこなっている小学校が存在する。

7. 【提案】 八代妙見祭保存振興会・八代市文化振興課へのインタビューから

## 八代妙見祭保存振興会

文化財伝承活動を学校教育の大きな柱にする  
災害記憶を学校での文化財伝承活動に練りこむ

### 伝統文化の伝承・活用

神輿等の伝承

行事等の伝承

組織等の維持

地域への貢献

伝統技術保全

文化財の保全・管理

文化財の指定活用

文化的まちづくり推進

市民主体の文化的活動

芸術・学術の振興

文化資源の継承・活用

八代市文化振興課

## 8. 【提案】新たな伝統芸能「豪雨踊」の創作 (一部参照：植柳盆踊り)



### 【歌詞】

- 1) ひごの やつしろ 鬼雨きたり  
くまがわ つづみを こえながれ  
わすれな わすれな やつしろごうう  
(てばらい 拍手 てまねき)
- 2) てっきょう 崩落ち にごりがわ  
ひとびと はなるる ふるさとを  
わすれな わすれな やつしろごうう

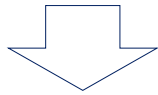
八代市にある約30の民俗芸能と同時に  
各学校の教育活動に取り込み、伝承し続ける

八代市独自の伝統芸能の創造と継承  
(100年後は文化財)

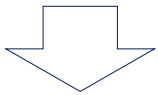
文化財を拠り所とした地元愛を持つ市民の育成と  
災害を乗り越える力の創造

## 9. 【まとめ】ハードからハートへ

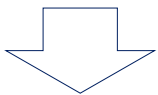
大規模災害が多発する現代社会



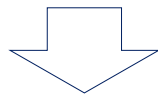
少子高齢化社会, コミュニティの崩壊



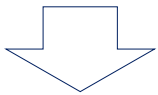
増大する行政の財政負担



低下する住民サービス



立ち遅れる大規模災害への対応(人災化)



期待できない公助

防災力のある地域の創造



文化財による地域の災害伝承



文化財を活用した教育による地域愛形成



学校教育における文化財伝承活動の体系化



熊本豪雨を題材とした伝統芸能の創造



求められる災害への自助・共助努力

補完する機能